

## 命ぬちどう宝

浦添市立港川小学校三年 與座 悠真

ぼくがお母さんのおなかの中にいたとき

お母さんはおなかの中のぼくのことを

「ぼうぼうちゃん。」

とよんでいた

「ぼうぼうって赤んぼうのぼう？」

って聞いたら

「たからだから宝宝と書いてぼうぼうだよ。

ママの宝とパパの宝だから

二つの宝で、ぼうぼう宝宝。

赤ちゃんはママとパパの宝だってこと。」

ぼくは生まれる前から

お母さんとお父さんの大切な宝ものだと

教えてもらった

「ガガーン！ヒューン、ドドドン！」

ばくだんからにげるとちゅうで

はぐれたおばあも

へいたいさんになったお父さんも

生まれたばかりの赤ちゃんの

命までもうばった

せんそうはあたり前の生活もうばった

えんぴつをうばい、やりやじゅうへ

学校をうばい、せんじょうへ

一人一人にあるしあわせをうばった

みんなのしあわせをうばうせんそうは

なくなっほしい

「ぬち命どう宝っていうことばもあるよ。

命こそ宝っていういみだよ。

おきなわにむかしからある

大じなことばだよ。」

お母さんに教えてもらった

ぼくの命もみんなの命も宝もの

せかい中のみんなの命も宝もの

「命どう宝」

命は一番大切

せかい中のみんなが

自分の命もみんなの命も

宝ものにして大切にすれば

せかいはきつと

へいわになれると

ぼくは思う。

ぼくが生まれるずっと前

おきなわの空と海から

せんそうがやってきた

青い空と海が黒い空と海にかわった

せんそうがたくさんの大切な命をうばった

「パーン、パーン」

空からはひこうきがばくだんをおとした